

さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が2つと黒い玉が2つでは24点、
 白い玉が6つと黒い玉が2つでは56点になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つの得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→ 24点
○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ●	→ 56点
これらのちがいを考えることで、	
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div>	→ () 点 … (あ)

② 上の図の(あ)のことから、白い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

③ 黒い玉1つの得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→ 24点
○ ○	→ () 点
これらのちがいを考えることで、	
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div>	→ () 点 … (い)

④ 上の図の(い)のことから、黒い玉1つの得点を求めましょう。

(式)

点

さしひいて考えて

年 組 名前

/ 6

- 白い玉と黒い玉には、それぞれ1つあたりの得点が決まっています、
 白い玉が2つと黒い玉が2つでは 24点、
 白い玉が6つと黒い玉が2つでは 56点 になります。
 このとき、白い玉1つと黒い玉1つ の得点をそれぞれ図を使って考えます。

① 白い玉(○)や黒い玉(●)、または数字を書き入れることで、下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→	24点
○ ○ ○ ○ ○ ○ ● ●	→	56点
これらのちがいを考えることで、		
○ ○ ○ ○	→	(32) 点 … (あ)

② 上の図の (あ) のことから、白い玉1つ の得点を求めましょう。

(式) $32 \div 4 = 8$

8 点

③ 黒い玉1つ の得点を求めるための下の図を完成させましょう。

○ ○ ● ●	→	24点
○ ○	→	(16) 点
これらのちがいを考えることで、		
● ●	→	(8) 点 … (い)

④ 上の図の (い) のことから、黒い玉1つ の得点を求めましょう。

(式) $8 \div 2 = 4$

4 点